

2021年度の研究室プロジェクト ～うつのみや まちづくり提案～

〈うつのみやまちづくり提案2021〉 宇都宮大学 建築環境研究室

スマート・ストリートファニチャー

～商店街通りの情報発信・滞在の場～

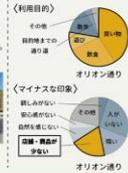
1. 提案の背景

① うつのみやの街並み

宇都宮駅西地区にはオリオン通りをはじめとした商店街通りや、イベント時や日常的に市民が訪れる広場があり、宇都宮の街並みを形成している。



② 商店街通りの現状調査



施設や店舗の利用を目的としている人が大半
・店舗や商品が少ないと感じている人が多い
→ 買いたい物が、店舗や商品の情報がうまく広められていないのではないかと

「ベンチ」「子ども利用できる休憩所」などを求める意見が多く見られた
→ 一息つけるような滞在場所が不足している

2. 提案

「情報発信」と「滞在」の場の不足を、「滞在機能を備えたデジタルサイネージ」を用いて解決する。

① スマート・ストリートファニチャーの概要



② 情報発信



③ 柔軟な滞在空間の創出

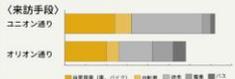
状況に応じて、自由な組み合わせで柔軟な滞在空間や効果を生み出す。
(単体で置く)
・商店街通りの中心に設置
・付属ベンチを道の脇に設置
→ 自転車進行の抑制
・広場に設置
・付属ベンチをまとめて設置
→ 複数人で滞在できる空間

(複数で置く)
・広場に設置
→ 2台を向かい合わせて設置
→ 囲われた安心感ある空間
・広場に設置
・2・3台を置いた状態で設置
→ 大きなディスプレイ

3. 展望

① ポイント付与システム

商店街通りで「たまる」「使える」ポイントアプリを導入する。
地域の活性化を図り、「カワラバン・スタンド」と連携させ、相乗効果を得る。



② 森林資源の活用

本提案では、森林資源の新たな活用方法でもある。低品質木材（C材など）は、樹木の先端部分に当たる資材であり、長さは2m程度で建築資材向きではないことから、伐採後に放置されることも多く問題になっている。「カワラバン・スタンド」は低品質木材（C材など）を主な材料とし、森林資源の活用にも貢献する。

